

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレス
トは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛
威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コ
ロナの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治癒後
でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワ
クチンの推奨](#)

最近のコメント

[<< 安定冠動脈疾患を合併する心房細動に対する抗血栓療法 | TOP | ペニシリンアレルギーに対する直
接チャレンジテスト >>](#)

2019年10月03日

軽症喘息には合剤（ICS+LABA）の頓用（as needed）が有効

軽症喘息には合剤（ICS+LABA）の頓用（as needed）が有効

<短 報>

Budesonide-formoterol reliever therapy versus maintenance
budesonide plus terbutaline reliever therapy in adults with mild to
moderate asthma (PRACTICAL) :

ニュージーランドからの報告です。

軽症喘息の患者885名（18~75歳）に対して、喘息増悪の予防のために連日吸入ステロイド剤を行っている人と随時（as needed）合剤（吸入ステロイド+持続性β刺激薬）を使用した人では、増悪の予防効果は合剤の方が優位との結果です。

増悪とは、経口ステロイドが3日間必要な場合としています。

52週間の経過観察で、増悪の年間発生率は0.119対0.172で合剤が優位でした。

ステロイドの吸入があれば炎症を鎮静化できますし、β刺激薬で症状の緩和にも繋がるので合剤が有効です。

一方で吸入ステロイドを連日行っているかも不確かなために、この結果を招いたとも解釈されるようです。

[オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
[オミクロン株でクルーズ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
[4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)
[モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(223)
[循環器](#)(247)
[消化器・P P I](#)(147)
[感染症・衛生](#)(276)
[糖尿病](#)(128)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)
[インフルエンザ](#)(106)
[肝臓・肝炎](#)(62)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)
[ワクチン](#)(73)
[癌関係](#)(11)
[脂質異常](#)(28)
[甲状腺・副甲状腺](#)(19)
[婦人科](#)(10)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(23)
[その他](#)(80)

過去ログ

表2 我が国で使用できるICS/LABA 配合剤

商品名	アズレア	シムビコート	フルティフォーム	シムバマ
成分 (ICS/LABA)	フルチゾン/ビロシオン配合剤 フル/サルメテロールキシナロ 配合剤	ブデソニド/サルメテロール 配合剤	フルチゾン/ビロシオン配合剤 フルチゾン/サルメテロール/フル チゾン配合剤	フルチゾン/フランシスニド ン配合剤 (FF)/ビソ ン/フルチゾン配合剤 (FT)
作用機序時間*	15分程度	1分程度	1分程度	8分程度
作用持続時間*	12時間	12時間	50エアゾール:15時間 125エアゾール:13時間	24時間
吸入装置	ディスカス、p-MDI	タージェムヘイラー	p-MDI	エリプタ
平均粒子径	4.4µm	2.2~2.4µm	3.1~3.6µm	FF 40µm, VT 27 µm
薬効 (発売年月)	9薬効 ディスカス (28吸入:2007.6) 90吸入:2008.7) 50/100µg 50/250µg 50/500µg エアゾール (HFA) 120吸入 25/50µg (2009.6) 25/125µg 25/250µg(2010.6)	2薬効 タージェムヘイラー 100/4.5µg 20吸入, 60吸入 (2011)	2薬効 エアゾール (HFA) 50吸入 50/5µg 125/5µg(2013.11)	2薬効 エリプタ (14吸入用) 25/100µg 25/200µg
用量	1回1吸入 (ディスカス) / 2吸入 (エアゾール), 1日2回	1~4吸入 1日2回	50エアゾール:2吸入 1日2回 125エアゾール:2~4吸入 1日2回	1回1吸入, 1日1回
注意情報	薬効を記載	吸入回数変更, SMART 機能あり	薬効を記載, 吸入回数変更	薬効を記載
成分物	乳糖水和物 (ディスカス)	乳糖水和物	ブドウ糖/ブドウ糖トリウム, 無水エタノール	乳糖水和物, ステアリン酸 マグネシウム

*気管支拡張作用

[本論文.pdf](#)

[ICSとLABA.pdf](#)

0

0

いいね!

[2022年07月](#)(10)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
[2021年02月](#)(19)
[2021年01月](#)(16)
[2020年12月](#)(17)
[2020年11月](#)(15)
[2020年10月](#)(17)
[2020年09月](#)(19)
[2020年08月](#)(14)
[2020年07月](#)(17)
[2020年06月](#)(14)
[2020年05月](#)(21)
[2020年04月](#)(18)
[2020年03月](#)(18)
[2020年02月](#)(18)
[2020年01月](#)(19)
[2019年12月](#)(14)
[2019年11月](#)(15)
[2019年10月](#)(18)
[2019年09月](#)(18)
[2019年08月](#)(14)
[2019年07月](#)(14)
[2019年06月](#)(16)
[2019年05月](#)(14)
[2019年04月](#)(18)
[2019年03月](#)(19)
[2019年02月](#)(19)

ツイート

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[雷雨は喘息発作を誘発する](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[潜在性結核感染症](#)

[急性細気管支炎](#)

posted by 斎賀一 at 13:46 | [Comment\(0\)](#) | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

この記事へのコメント

[2019年01月](#)(15)

[2018年12月](#)(16)

[2018年11月](#)(20)

[2018年10月](#)(20)

[2018年09月](#)(18)

[2018年08月](#)(24)

[2018年07月](#)(18)

[2018年06月](#)(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

